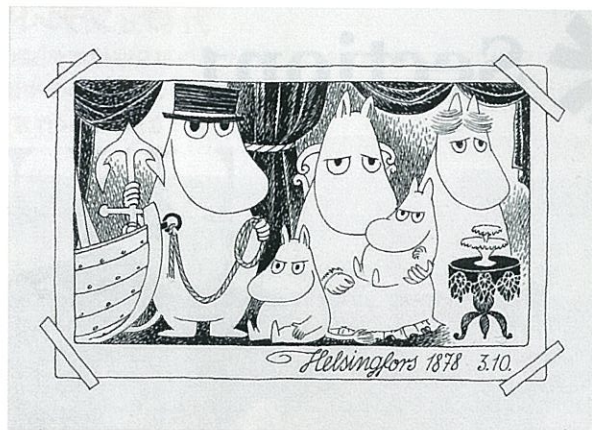


寄り添うデザイン、

Maija Isola/1964



suomi finland



Tove Jansson/1957

森へ還る知恵。

Alvar Aalto/1955



suomi finland

Eero Järnefelt/1903



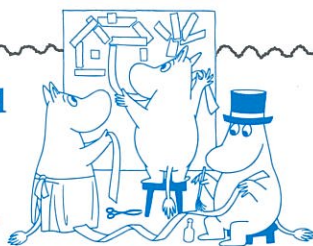
suomi finland

Pekka Halonen
1908



suomi finland

The Essence of Finnish Design and
Culture Mythology, Moomin, and
People in the Intimate Wilderness



フィンランドの くらしとデザイン ムーミンが住む森の生活

観覧料金：一般 1,300(1,100) 円、大学生 900(700) 円、高校生・65 歳以上 650(550) 円、中学生以下無料※()内は、前売料金及び 20 名以上の団体割引料金(高校生・65 歳以上は前売なし)※障害のある方と介護の方(1 名)は各当日料金の半額(65 歳以上除く)※割引を受けられる方は、証明できるものをご持参ください。※コレクション展の観覧には別途観覧料金が必要(本展とあわせて観覧される場合は割引あり)※前売券：チケットぴあ(Pコード：765-428)ローソンチケット(Lコード：54598)ほか京阪神の主要プレイガイドなど※前売券の販売は 1 月 9 日まで 開館時間：午前 10 時～午後 6 時(金・土曜日は午後 8 時まで)入場は開館 30 分前まで 休館日：月曜日(ただし 1 月 14 日、2 月 11 日は開館、翌 1 月 15 日、2 月 12 日は休館)

www.finland-design.com



The Essence of
Finnish Design
and Culture



平成 24 年度
文化庁 地域発
文化芸術創造発信
イニシアティブ



フィンランド



フィンランド



フィンランド



フィンランド



フィンランド



フィンランド



フィンランド



フィンランド



フィンランド



フィンランド



フィンランド



フィンランド

2013 年 1 月 10 日(木)

開館
10 周年

- 3 月 10 日(日)



兵庫県立美術館
HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART

Section1

フィンランド・デザインの黎明

19世紀末から20世紀前半にかけてのナショナル・ロマンティズムの動向を、国民的画家アクセリ＝ガレン＝カレラや建築家エリエル・サーリネンらの作品を通して紹介、フィンランドのモダン・デザインにつながっていく作家たちの創造性やライフスタイルを展観します。



エーロ・ヤルネフェルト《コリ高原から望む》1927年、フォータム美術財団 photo © Råuno Träskelin



ペッカ・ハロネン《材木を流す人々》1925年、UPM キュンメネ文化財団 photo © Rauno Träskelin



Section3

フィンランド・デザインの〈今〉が示すこと

アアルト大学による太陽光発電エコ住宅《Luukku House》プロジェクトやHKL(ヘルシンキ交通局)とHSL(ヘルシンキ広域交通)が展開する公共交通でのヴィジュアル・デザイン、アルテックの2nd Cycleプロジェクトなど2000年代の活動を紹介します。



イオナ・イロットウ+ベトリ・サルメラ+エーヴァ・シヴラ (切手デザイン)
《シート切手「フィンランド・デザイン：クラシック編」》発行 2000 年、フィンランド郵便博物館
© Post Museum, Helsinki



アクセリ＝ガレン＝カレラ《ヴァイナモイネンとアイノ》1890 年、個人蔵
photo © Finnish National Gallery / Central Art Archives/ Hannu Aaltonen

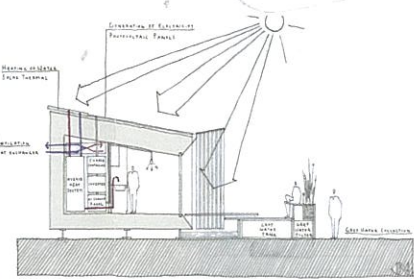
フィンランドの森に住むトロールの「ムーミン」は、画家で作家のトーヴェ・ヤンソンが生み出した童話『ムーミン』の主人公です。ムーミンが家族と一緒に森で暮らし、厳しい自然環境の中で自由と冒険の精神を育んでいくことを主題とするこの物語は、フィンランドの風土やライフスタイルを学ぶための良きバイブルともなっています。

トーヴェ・ヤンソンが生きた20世紀、フィンランドのモダンデザインは、近現代の建築・デザイン史において独自の位置を確立し、1950年代以降、国際的に高い評価を得てその後の世界のデザインシーンに大きな影響を及ぼしました。「全ての人々にとって、あらゆる観点から良いデザイン」を追求するフィンランド・モダンデザインの系譜は、今日の「ユニヴァーサル・デザイン」や「エコロジー・デザイン」の原点にもなっています。これらデザイン哲学の根底にあるのは、『ムーミン』の中でも示唆されている「人間と自然との共存」や、「家庭や地域コミュニティでの相互扶助」を重視する、フィンランドの伝統的かつ本質的なライフスタイルに他なりません。

ムーミンをガイド役に、約350点を展観する本展では、フィンランド芸術の根幹となっている19世紀末から20世紀前半にかけての民族主義を俯瞰するとともに、トーヴェ・ヤンソンによる『ムーミン』の原画、アルヴァ・アアルトやカイ・フランクの製品デザイン、マリメッコのテキスタイル、さらには現在の公共デザインでの取り組みを紹介し、時代と地域を超えるグッド・デザインを生み出してきたフィンランドの真髄を探ります。

左：アクセリ＝ガレン＝カレラ《書籍『大カレワラ』のためのデザイン原画：第1章より》1920年代、ガレン＝カレラ美術館 photo © The Gallen-Kallela Museum, Espoo

右：エリエル・サーリネン《試作椅子「コティ」》1903年、フィンランド・デザイン・ミュージアム photo © Niclas Varius



アアルト大学建築学部木工コース
《Luukku House ソーラー・システム概念図》
2010 年、©Aalto University, Department of Architecture, Wood Programme



アアルト大学建築学部木工コース《Luukku House》2010 年（模型展示）
photo © Aalto University, Department of Architecture, Wood Programme

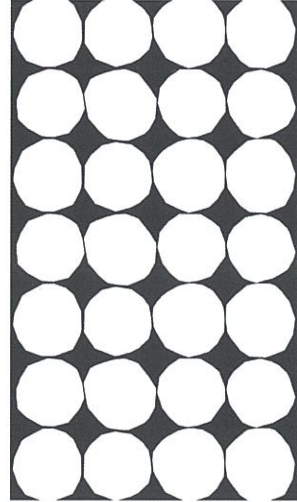
Section2

フィンランド・デザインの黄金時代

アルヴァ・アアルトやカイ・フランク、マリメッコ等のデザイン・プロダクトを通して、20世紀に黄金時代を迎え、今日のフィンランド・デザインの礎を築いたフィンランドのモダン・デザインを紹介します。



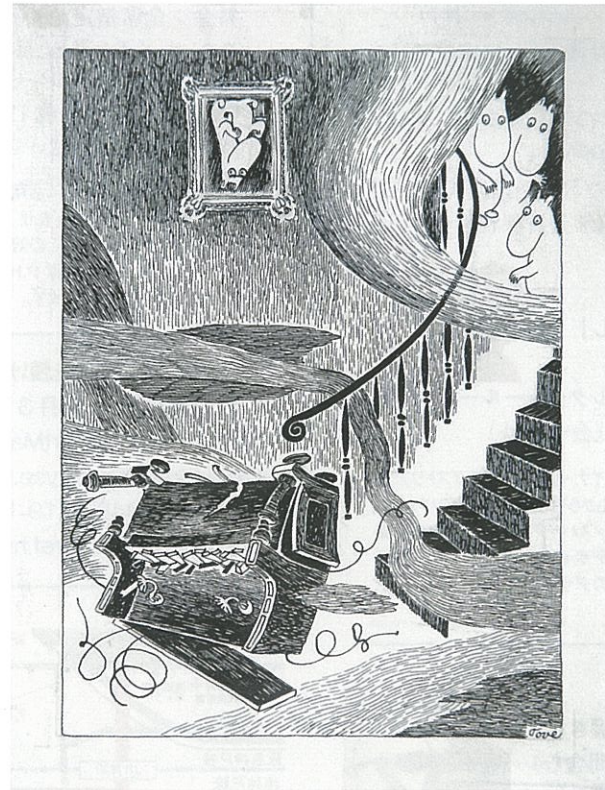
ペール・オロフ・ヤンソン撮影
《アトリエで制作中のトーヴェ・ヤンソン》



マイヤ・イソラ《生地「ウニッコ」》、《生地「キヴェット」》
現行製品（デザイン 1964 年、1956 年）© Marimekko Corporation



アンニカ・リマラ《生地「クルーナ」のドレス》デザイン1967年、
フィンランド・デザイン・ミュージアム
photo © Design Museum, Helsinki



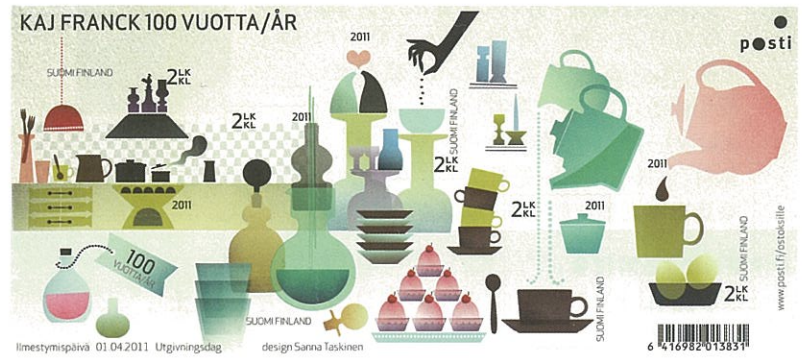
トーヴェ・ヤンソン《無題》年代不詳（書籍未掲載）、
タンペレ市立美術館 ムーミン谷コレクション
Tampere Art Museum Moominvalley / © Moomin Characters™



カイ・フランク《タンブラー・シリーズ》
現行製品（プロトタイプ 1955 年）、スキャンデックス
Photo © Iittala



アルヴァ・アアルト+アルテック社
《2nd Cycle プロジェクトで収集したスツール》
2007 年以降、アルテック社
photo by ©Artekt



サンナ・タスキネン（切手デザイン）《ミニチュア・シート切手「カイ・フランク生誕 100 年」》発行 2011 年、個人蔵

【関連行事】

◆講演会

1) 安藤忠雄 講演会「生活文化とデザイン」

1月20日(日) 午後2時～3時

ミュージアムホール 聴講無料

(定員250名・要展覧会チケット)

◎当日12時より整理券配布予定



photo by 林景澤

2) 「持続可能なモダニズム ～サーリネン、アアルト、そしてフィンランドの今～」

講師：橋本優子(宇都宮美術館学芸員／本展企画者)

1月13日(日) 午後2時～3時30分 ミュージアムホール

聴講無料(定員250名・先着順・要展覧会チケット)

3) 「アートからデザインへ デザインからアートへ フィンランドから現代を考える」

2月17日(日) 午後2時～5時(休憩時間含む)

ミュージアムホール

聴講無料(定員250名・先着順・要展覧会チケット)

講師：

- ①「自然と交感するデザイン：環境に應えるデザインの未来」
小玉祐一郎(神戸芸術工科大学環境・建築デザイン学科教授)
 - ②「国際共同デザインプロジェクト報告：『ヘルシンキー 神戸
Eating in Open Air 戸外の食事』」逸身健二郎(同大学プロ
ダクトデザイン学科教授)
 - ③「アート・教育・コミュニティを考える。フィンランドとヨーロッパ」
佐久間華(同大学院芸術工学研究科助手)
 - ④「森の想像力：ムーミントロールと日本のフムフム」山崎均(同大学
デザイン教育研究センター教授・博物館学芸員課程担当)
- 各講義のあと4名で座談会



4) 「フィンランドと日本と デザインのおはなし」

講師：ユホ・ヴィータサロ

2月11日(月・祝) 午後2時～3時 レクチャールーム

聴講無料(定員100名・先着順・要展覧会チケット)

ユホ ヴィータサロ Juho Viitasalo：インダストリアルデザイナー。日本インダストリアルデザイナー協会(JIDA)会員。フィンランド生まれ。工業製品から化粧品や食品のパッケージに至るまで幅広い分野で活躍。北欧の伝統工芸からインスパイアされた先進的かつ繊細なデザインを特徴とし、北欧の感性を生かした洗練されたデザインを提案している。現在は日本に在住。本展覧会のイメージパターン「NUPPU」のデザイナー。

(nuppu) designed by Juho Viitasalo

◆記念コンサート

ヤンネ館野トーク&コンサート「フィンランドの響き」

2月3日(日) 午後2時～4時(休憩時間含む)

出演：ヤンネ館野(ヴァイオリン)、宮田雅代(ピアノ)、

山本由美子(ヴィオラ)、山岡真弓(チェロ)

エントランスホール 無料(要展覧会チケット)

※兵庫県立美術館アートフュージョン実行委員会共催



◆フィンランドの民族楽器・カンテレで奏でる北欧音楽の世界

1月14日(月・祝) 午後2時～4時 アトリエ1

出演：Lokki(大西智子(カンテレ演奏家)／

織田優子(リコーダー奏者)／

Aki(パーカッション奏者))

無料(定員150名・先着順・友の会会員優先枠あり(50席))

※兵庫県立美術館芸術の館友の会共催



◆学芸員による解説会

1月12日(土)、1月26日(土)、2月9日(土)、2月23日(土)、

3月9日(土)

午後4時より約45分 レクチャールーム

聴講無料(定員100名)

◆ミュージアム・ボランティアによる解説会

会期中の毎週日曜日

午前11時～11時15分 レクチャールーム

聴講無料(定員100名)

◆おやこ解説会

2月23日(土) 午後1時30分～午後2時

レクチャールーム(定員100名)先着順 聴講無料

◆こどものイベント「アートな風をあげよう！」

1月12日(土) 午前10時30分～12時30分 アトリエ2

要事前申込 こどものイベント係 TEL 078-262-0908

◆「500色の色えんぴつ 子どもワークショップ」

3月3日(日) 午前11時～午後2時 ホワイエ 参加自由

協力：株式会社フェリシモ

■ 館野泉ピアノ・リサイタル フィンランドのくらしと音楽と

2月24日(日) 開演：午後3時 [開場：午後2時30分]

会場：サンケイホールブリーゼ

(大阪市北区梅田2-4-9 ブリーゼタワー7F)

料金：全席指定6,000円(本展の観覧料を含む)

※コンサートチケットまたは半券で本展をご覧いただけます

お問い合わせ：ブリーゼチケットセンター (1名・1回限り)

06-6341-8888 (午前11時～午後6時)

主催：産経新聞社、ブリーゼアーツ



photo by 武蔵 孝

ヘルシンキを拠点に世界的に活躍するピアニスト、館野泉(たてのいずみ・1936年生まれ)のリサイタル。フィンランド在住40年以上におよぶ氏が「フィンランドのくらしと音楽と」をテーマに当館の養豊館長との対談を交え、C.ライト〈祈り〉(フィンランドのテーマによる)や、フィンランドの作曲家P.H. ノルドグレン、林光、cobaらが「左手のピアニスト」、館野泉に捧げた作品を演奏します。

□一時保育 お子様を預けてゆっくり美術鑑賞はいかがですか。

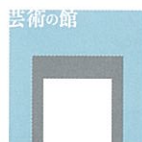
1月16日(水)、2月3日(日)、2月23日(土)、3月10日(日)

お問い合わせ：HeartMam (ハートママ)

kako-o-kako@m6.gyao.ne.jp

TEL 090-3948-3719/FAX 078-755-0973

<http://www.artm.pref.hyogo.jp/pdf/hoiku.pdf>



兵庫県立美術館

HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART

〒651-0073 神戸市中央区臨海浜通1-1-1

Tel.078-262-0901 (代)

<http://www.artm.pref.hyogo.jp>

[交通案内] 阪神岩屋駅(兵庫県立美術館前)から南に徒歩約8分

JR 神戸線 須賀南口から南に徒歩約10分

阪急神戸線 王子公園駅西口から南西に徒歩約20分

JR三ノ宮駅南から神戸市バス・阪神バスにて約15分「県立美術館前」下車すぐ

地下駐車場(乗車80台収容・有料)※ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください。

団体バスでお越しの場合はバス待機所のご予約をお願いします。

表面図版・左上から マイア・イソラ(生地「ウニコ」)現行製品(デザイン1964年) © Marimekko Corporation / トーヴェ・ヤンソン(一家の写真：1878年、ヘルシンキにて)1957年、タンペレ市立美術館 ムーミン谷コレクション © photo by Jari Kuusela / Tampere Art Museum Moominvalley © Moomin Character™ / エーロ・ヤルネフェルト(スオミの風景)1903年、フォーラム美術館 photo © Rauno Traskelin / アルヴァ・アアルト(ペンダント・ランプ No.A335)プロトタイプ1955年(制作1970年代)、ユヴァスキュラ市(アルヴァ・アアルト美術館寄託) photo © Majja Holma / Alvar Aalto Museum, Jyväskylä / ベッカ・ハロネン(冬の松)1908年、メリタ美術館 photo © Art Foundation Merita, Helsinki